

ふれあい

編集発行

社会福祉法人 宿毛市社会福祉協議会

〒788-0012 宿毛市高砂4番56号

電話 65-7665 FAX 65-7663

URL <http://sukumo-shakyo.or.jp/>

令和2年度赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました。



募金種類	実績額
戸別募金 (各世帯)	2,156,532 円
法人・大口募金 (企業・個人)	10,000 円
職域募金 (私立保育園など)	59,890 円
学校募金 (市内小・中学校)	82,031 円
街頭募金	13,481 円
その他	1,460 円
合 計	2,323,394 円

令和2年12月31日の期間
で赤い羽根共同募金運動
が行われました。
新型コロナウイルス感
染症により地域経済が混
乱する中で、市民の皆さ
まをはじめ学校、企業、
職場などの多なるご協
力により宿毛市共同募金
委員会へ寄せられた募金
の総額は、232万33
94円となりました。
皆様からいただいた募
金は、令和3年度に行わ

れる事業として、高知
県共同募金会を通じ、
高知県内の様々な福祉
活動に役立てられるほ
か、宿毛市内における
地域福祉の活動や社会
福祉団体の活動を支援
するための貴重な財源
として活用されます。
令和3年度も引き続
き赤い羽根共同募金運
動に皆さまのあたたか
いご支援とご協力を賜
いますようお願いす
願います。

～無料法律相談のご案内～

2月の無料法律相談は、次の通りです。

混雑を避けるため、予約制となっておりますので、ご了承ください。

【日時】令和3年2月19日(金) 13:00～15:00

【場所】宿毛市高砂4番56号 宿毛市総合社会福祉センター

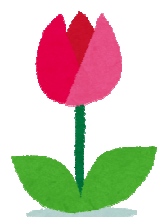
【相談員】青山法律事務所 青山高一 弁護士

【定員】6名まで(要予約)

【ご予約・お問合せ】「ふれあい相談センター」宿毛市社会福祉協議会内

電話 65-7665 FAX 65-7663

※ご予約はお早めをお願いします。



「すくも朗読サークル ほほえみ」

厚生労働大臣表彰受賞



すくも朗読サークル「ほほえみ」は現在7名で活動しており、宿毛市内に住む視力が不自由な方や、広報誌が読みづらくなつた方の為に、宿毛市及び宿毛市社会福祉協議会が発行する広報誌の朗読録音を行っております。

この活動は、24年続いているもので、宿毛市民が安心して生活できる環境を作る一翼を担った活動であることから今回、厚生労働大臣表彰を受賞いたしました。

今後も、活動して参りますので、録音広報の利用を希望される方がおられましたら、宿毛市社会福祉協議会 65-7665までご連絡ください。



オレンジカフェ「はまゆう」 2月のご案内

【日時】 令和3年2月16日(火) 14:00~16:00
(この時間帯の中で好きな時間にお越し下さい。)

【場所】 宿毛市総合社会福祉センター 2階 視聴覚室

【問合せ】 あったかふれあいセンター「すくも」

電話 65-7665

オレンジカフェは、宿毛認知症の人と家族の会「はまゆう」の方々と、ボランティアの協力により開催しています。

日々の介護や認知症等についての相談にも応じます。お気軽にお越しください。



※宿毛市の要請により、飲食は中止とさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、滞在時間の短縮にご協力をお願いします。

赤い羽根フードドライブキャンペーン

～宿毛市民のおすそわけ活動報告～

キャンペーン期間：10月12日（月）～12月28日（月）

○食料募集状況報告

- ・食料寄付 680,000 円（概算）
 - ・寄付金 61,000 円
 - ・助成金 500,000 円
- 1,241,000 円



○お渡し状況報告

- ・配布世帯数：115 世帯
- ・配布人数：235 人

フードドライブキャンペーンを実施にあたり、市民の方々や市内社会福祉法人・団体・企業様より多くのご寄付を頂き、必要とされる方への配布が行えました。ご協力本当にありがとうございました。

当市においても、新型コロナウイルスの影響は大きく、普段の生活を送ることが難しい状況はなお続いている状態です。困ったときは一人で悩まず、気軽にご相談ください。私たちが一緒に考えます。

【相談先】宿毛市社会福祉協議会 電話 65-7665

介護経験のある家族会員がお待ちしています ※毎月第2火曜日に開催

悩み、嬉しかったこと、上手くいったことを語り合って、ホッとする時間を過ごしませんか？

【日時】 令和3年2月9日（火）13:30～15:00

【場所】 宿毛市総合社会福祉センター 2階 小会議室

【問合せ先】 「認知症の人と家族の会」

宿毛家族の会 はまゆう

代表：小島 正子 電話：66-0208



老若男女集って。～認知症地域支援推進員活動より～

令和3年1月19日（火）は認知症サポーターのフォローアップ講座でした。これは、認知症サポーター養成講座を受講した方たちが、認知症についての理解を深めたいと月1回定期的に勉強会を続けているものです。

今回は、幡多看護専門学校の実習生も参加され、認知症の予防について普段やっていることから、今後必要なことについて意見交換を行いました。

行きたいところへ行けるための自分の力も、行きたいところを守る周りの力も、どちらも大事ですね。



力を合わせて。～認知症地域支援推進員活動記録より～

令和3年1月15日（金）は宿毛中学校2年生に認知症サポーター養成講座を行いました。

高齢者と接する機会が少なくなり、高齢者のイメージもわきにくいようでしたが、講座後には「認知症を考えるきっかけになった」などの意見が聞かれました。

また、認知症ケアパスの修正版について「認知症とは」の部分で伝えたほうがよいと思われる項目について意見交換も行いました。

完成版は今後活用していくことになります。